

認定こども園
広島和光園保育所
入園のしおり
(重要事項説明書)



社会福祉法人 広島和光園
認定こども園広島和光園保育所

認定こども園広島和光園保育所の沿革

創立 昭和22年(1947年)7月10日

昭和20年8月、原爆、第二次世界大戦終戦にともなう戦没、戦災、引揚げなどによる母子世帯保護のため、広島市より業務委託を受け、基町で「広島母子寮保育所」として開始。社会福祉法人広島和光園の認可を受け、「広島和光園保育所」とする。

昭和27年(1952年)9月

広島市の基町地区再開発の都市計画により、現在地にあった広島市立保育所と施設交換を行ない移転。定員 80名

昭和44年(1969年)4月

園舎新築完成 定員110名

昭和55年(1980年)2月

延長保育事業開始 定員120名 (延長保育定員 20名)

平成 5年(1993年)4月

定員160名 地域子育て支援事業開始

平成13年(2001年)1月

一時保育事業開始、園舎改築 定員170名

平成15年(2003年)4月

定員180名

平成16年(2004年)4月

防犯セキュリティシステム導入、門全面改築

平成17年(2005年)2月

定員200名 乳児室増設

平成19年(2007年)4月

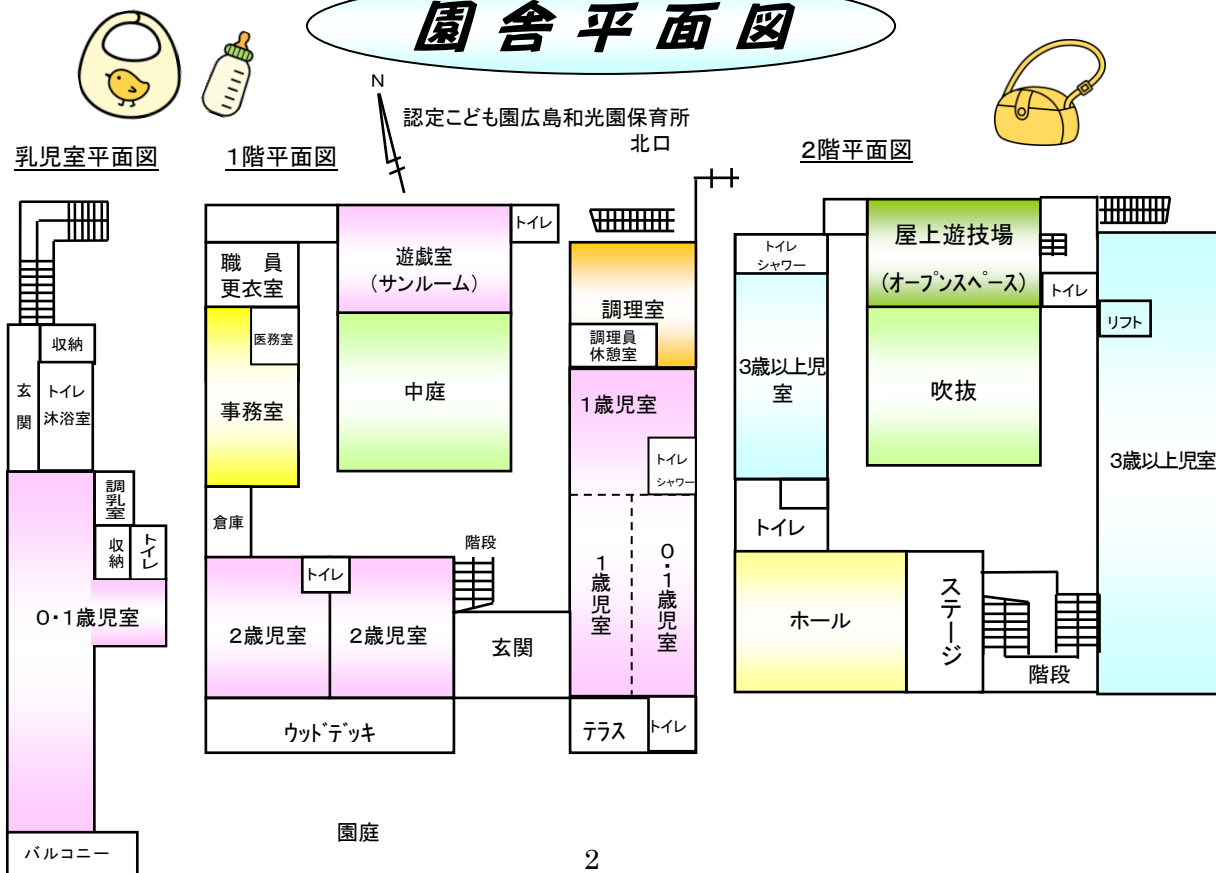
耐震改修及び大規模修繕工事完了

令和 3年(2021年)3月

令和 6年(2024年)4月

「認定こども園 広島和光園保育所」に移行

園舎平面図



認定こども園広島和光園保育所基本理念

- * 乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であること、そして、子どもにとって、保育園は一日の大半を過ごす生活の場であることをしっかり認識して、乳幼児にふさわしい、ぬくもりのある、安心感の持てる環境を大切にして、専門性を有した職員が保育します。

子どもたちには、保育者たちの深い愛情のもと、養護と教育を一体とした保育を受ける中で、遊び、生活し、心身の健やかな成長発達が図られるようにします。

また、一人ひとりの個性が大切にされる中で、たくさんの友だちや、様々な人たちと関わる経験をして、豊かな人間性をもった子どもに育つようにします。

- * 家庭と密接な連携のもとに、保護者の方を理解し、その意向の適確な把握に努め、支援します。また、**保護者の方**には、本園の保育を理解し、協力していただき、共に子育てしあう関係づくりに努めます。
- * **家庭で子育て中の方**をはじめ、**地域の方**にも、開かれた保育施設として、その知識、経験、技術などを活用していただけるよう、地域社会との連携に努め、子育て支援の核として利用していただけるように努力します。

保育・教育 理念

こどもの「今」を大切に



子どもの^{いのち}生命、人間としての尊厳を大切にし、一人の独立した人格として、**その主体性を尊重し、育む**保育をします。そして、子どもの最善の利益を考慮しながら、一人ひとりのすこやかな心と体の育ちを目標に、長期的視野に立って、**「今」**を大切にする保育をします。

保育・教育 目標

心身のすこやかな成長

- * 生き生き遊び、やる気とやりぬく気力、体力のある子ども
- * 感動する心を持ち、想像力、創造力の豊かな、探究心の旺盛な子ども
- * 人の話を傾聴し、自分の思いをことばで表現したり、伝えられる子ども
- * 思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども
- * 自分で考え、判断して、行動しようとする子ども

保育・教育方針

子どもの心に、「生きる力」と「喜び」を育む

- * **一人ひとりの子ども**が、愛されている実感、信じ認められている実感、大切にされている実感をもてる保育をします。
- * **一人ひとりの子ども**が、自分を信じ、安心感をもって、のびのびと遊び、生活できるようにします。そして、共に違いを認め合いながら、友だちや保育士、周囲の環境などに対して自発的、意欲的に関わって、生活に必要な能力や態度などを学びとって発達していく保育をします。
- * **一人ひとりの子ども**の特性、発達の過程、生活環境など、その子どもの全体的な姿やおかれている状況を把握しながら、きめ細やかな保育を行い、子どもの生きる力の基礎を育成します。

0歳・1歳



愛情深い関わりにより、基本的な信頼感を育てる

— 愛され、大切にされている実感を持ち、こころよく過ごす —

1歳・2歳・3歳

自我の芽生えを肯定的に、愛情豊かに受け入れ、探索意欲の高まりを大切にして、行動や感情を自分でコントロールしようとする自律心を育てる

— 保育士や友だちとの関わりの中で、自分を信じ安心して

自己主張し、また探索活動も十分に楽しみながら、のびのび生活する —

4歳・5歳・6歳

自立心と自律心を身につけて、それぞれの違いを認め合いながら仲間と協調し、自分で考え、判断して、行動しようとする自信と意欲を育てる

— 喜びや悲しみを共感しながら関わり合い、決まりを守り他の人を思いやる心を持って、生き生きと遊び、学び、生活する —

<0・1・2歳児クラス>

0, 1, 2歳児は、ゆるやかな担当制保育をしています。一人ひとりの生活リズムに合わせて保育士が丁寧に関わり、愛着や信頼関係をしっかりと深めながら安心して生活が出来るようにしています。



7:15 開園

随時登園

先生と手をとりあって、目を合わせて、朝のあいさつをします。
保育士は、表情や手の暖かさなどをみながら健康観察し、0歳児は検温もします。

室内あそび

子どもの発達に合ったあそびの環境のもと、自ら興味をもったあそびを楽しみます。



9:00

朝のおやつ

登園が早かった子どもから順番に牛乳を飲み、お菓子を食べます。

排泄、着脱、食事などは一斉にせず、遊びを継続しながら一人ずつ丁寧に声をかけ、行っています。

戸外あそび

天気の良い日は出来るだけ戸外で体をしっかり使って遊びます。
雨天時も、テラスなどで運動遊びをし、身体づくりが出来るようにしています。



10:00

室内あそび

楽しい給食

園内の給食室で調理された、つくりたての食事を楽しくいただきます。

0, 1歳児は、一人ひとりの生活リズムに合わせて、担当の保育士と一緒に少人数で順番に食事をします。



11:00



12:00

お昼寝

保育士に背中をトントンしてもらったり、手足のマッサージをしてもらいながら、体を休めます。



13:00



15:00

午後のおやつ

手作りおやつと牛乳、ヨーグルトなどです。おかわりもあります。
かむ力をつけるため、こんぶ・スルメ・かえりちりめん等も加えています。



あそび

子どもの発達に合ったあそびの環境のもと、自ら興味をもったあそびを楽しみます。

降園

通常保育の子どもたちは、随時お迎えです。



18:15

延長保育

0歳児、1・2歳児に分かれて、18:00頃おやつを食べて、様々な遊びをしながら、お迎えを待ちます。



19:15 閉園

<年少・年中・年長組>

異年齢保育(3・4・5歳児混合チーム)を基本とし、
多様な人との関りの中で生活したり遊んだりします。
日課を大切にすることで子どもたちが自ら生活に見通し
を持ち、受け身ではなく主体的に活動を楽しみます。



7:15 開園 随時登園

先生と手をとりあって、目を合わせて、朝のあいさつをします。
子どもは自分で、保育園での一日を始める準備をします。



9:30 異年齢による自由選択遊び(年少・年中・年長児混合)

室内で、子どもたちが興味・関心を持ったことを、みんなで
考えたり作ったりして、展開しながら遊びます。
※季節によっては、散歩など戸外で遊ぶこともあります。



11:30 午前の活動のふりかえり

同じクラスの友だちと一緒に、午前中遊んだことを伝えあい、
楽しかった経験をみんなで共有します。



12:00 食事準備

年長児の当番は食事の準備を手伝います。

楽しい給食

園内の調理室で調理された、つくりたての食事を、グループの友だちと一緒に楽しく
いただきます。保育士や栄養士と話をしながら、一人ひとりが自分の食べる量を
伝え、個別の配慮のもとに、よそってもらいます。おかわりもあります。
食事のマナーや姿勢も身につけていきます。
調理室の職員も子ども達の食事の様子を見守り、よりよい給食作りを目指しています。



12:45

年
長
児

発達過程に応じて計画された幼児教育の
活動を、行ないます。

年
中
組
・
年
少
児

昼寝

年中組・年少児は、
14:30までお昼寝します。



15:15 おやつ

手作りおやつと牛乳、ヨーグルトなどを友だちといただきます。
おかわりもあります。



15:45 外あそび

園庭で遊びます。
※季節・天候によっては、室内で集団遊びや自由選択遊びをします。

随時降園

通常保育の子どもたちは、随時お迎え、降園します。



18:15 延長保育

18:00頃おやつを食べて、先生や友達との関わりの中、
様々な遊びをしながら、お迎えを待ちます。



19:15 閉園

年間行事

『子どもが主体』の行事を大切にしています

認定こども園広島和光園保育所では季節ごとの行事や日本の伝統行事などに加え、子どもたちの生活や遊びの積み重ねを保護者の方と共有し、お子さんの成長を共に喜び合う大切な機会として、園行事を行っています。子どもたちの心の安定を第一に考え、毎日の日課が崩れないよう、“日常の遊びを取り込んで作る”行事を大切にしています。

幼児クラスの行事は、子どもたちと一緒に考えて準備をします。子どもたちが「立派にできた」「間違わずにできた」などという、見栄えを評価するのではなく、そこに至るまでにどんな豊かな育みがあったのか（目に見えない心の育み）を保護者の方と共有できる行事となればと考えています。



春

年少・年中・年長組 **進級のつどい**
季節行事 **こどもの日**

夏

年長組 **プラネタリウム鑑賞**
季節行事 **七夕**
年少・年中・年長組 **夏まつり**
年長組 **お泊り保育**



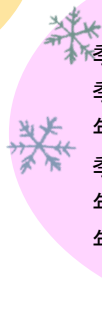
秋

0・1歳児組 **「親子で遊ぼう」会（※）**
2歳児・年少・年中・年長 **運動会（※）**
季節行事 **お月見**
年少・年中・年長組 **秋の遠足**
全園児 **和光園フェスタ（※）**



冬

季節行事 **クリスマス**
季節行事 **鏡開き**
年長組 **卒園プロジェクト（※）**
季節行事 **節分・ひなまつり**
年長組 **お別れ遠足**
年長組 **卒園式（※）**



- ・（※）は、保護者の方も参加していただく行事です。
- ・子どもたちのみで行う行事は、動画や写真等で保護者の方に活動の様子をお伝えするものもあります。
- ・保護者の方に参加していただく懇談会や、保育参加（保護者の方の保育体験）を行っています。

特別保育事業

○延長保育

保育標準時間認定（2号、3号認定）の方は、18:15～19:15の延長保育が利用できます。

0, 1, 2歳児 … 600円/1回

3, 4, 5歳児 … 500円/1回

※月に5～6回以上利用される方は、登録手続きを行うと、広島市からの補助により通常保育料の月額12%に相当する額(上限2,750円)でご利用することができます。

教育標準時間認定(1号認定)の方は、16:15～17:15の延長保育が利用できます。
500円/1回

○一時預かり

下記の要件に該当する場合、生後4ヶ月～就学前までの乳幼児を、月曜日～金曜日の8:30～17:30の間お預かりします。(有料です)

- ・ 仕事などで週1～3日の保育が必要な時
- ・ 保護者の病気、介護などで一定期間の保育が必要となった時
- ・ リフレッシュのためなど私的な時間が欲しい時

○障がい児保育

原則として障がいの程度が中程度までで、集団保育が可能なお子さん(身体障がい・知的障がい・発達障がい)を受け入れて、障がいをもつ子ども、障がいをもたない子ども、共に育つ保育に取り組んでいます。担当保育士が、発達や障がいの状態を把握し、障がいの特性に合わせたプログラムを作成し、適切な環境の下で、障がいをもたない子どもとの生活を通して、育ち合うよう配慮しています。

また、月1回ケース会議を開催し、より具体的な関りを必要とする子どもたちについて相互理解を図ることを目的として話し合いを行っています。

毎 週

○ 体育教室 (年少・年中・年長組)

毎週月曜日に、幼児活動研究会の体育講師の指導のもと、マット運動・鉄棒・ボール・縄とび等を使って運動あそびを楽しみます。

指導料は、保護者会を通して(子ども一人1ヶ月500円)と園とで支払います。



○ 硬筆教室 (年長組)

月3回木曜日に硬筆の先生の指導で、姿勢を正して座ることや、鉛筆の持ち方、ひらがなの書き方を学びます。

指導料は、園で支払います。

○ 園文庫の貸し出し

毎週絵本の貸し出しをしています。

園文庫には、質のよい絵本が揃えてあります。絵本や物語に親しみ、その内容を楽しんだり、想像したりして、友達と心を通わせ、共感しあう喜びが得られます。

園文庫のよい絵本を、家庭でも、お子さんと楽しんでいただきたいと思います。

そ の 他

○ 誕生日のお祝い

0・1・2歳児は各クラスで、年少・年中・年長組はグループで保育士と子どもたちと一緒に、その月生まれの誕生日をお祝いします。

写真やメッセージ・身長・体重などを記した誕生カードを差し上げます。

保 育 時 間

○ 開園時間

開園時間 7 : 15 ~ 19 : 15

保育標準時間認定(2号・3号認定) 7 : 15 ~ 18 : 15 延長保育 18 : 15 ~ 19 : 15

保育短時間認定(2号・3号認定) 8 : 15 ~ 16 : 15

教育標準時間認定(1号認定) 8 : 15 ~ 16 : 15 延長保育 16 : 15 ~ 17 : 15

なお、長時間の保育は、お子さまの心身の疲労につながりますので、勤務が終わり次第、できるだけ早目に迎えに来てあげてください。

又、仕事がお休みの時など都合のつく時は、親子の触れ合いを深めるように心がけましょう。

○登園時間

登園が遅いと、集団に入りにくくなります。できるだけ9時20分までに登園しましょう。
9時20分以降に登園される時やお休みされる時は、午前8時30分～午前9時までに必ずご連絡ください。(遅刻されるときは、ルクミー連絡帳にて遅刻する旨を送信ください。)
連絡がない場合は、園から確認の電話をさせていただきます。

○休日

日曜日、祝祭日、年末年始はお休みです。
災害、伝染病の発生など非常の時は、休園することがあります。

保 育 料

○保育料

保育料は、認定こども園広島和光園保育所が直接徴収いたします。ルクミー請求管理システムにより、口座引き落としさせていただきます。手数料は当園が負担いたします。

なお、3歳以上児(年少組・年中組・年長組)の保育料は無償ですが、副食費・主食費は別途徴収いたします。

家庭の事情その他で、退園や長期欠席をされる場合、事前に園長にお届けください。
退園届が未提出の場合、その間通園されなくても、保育料は支払っていただくこととなります。

退園、転居など

転居、転職又は、退職などで、転園や退園される場合は、速やかに園長に届けてください。又、親権者の変更など、お子さんに関わることは必ずお知らせください。



食 事

〈食べることを大切に考えています〉

食事は、単に必要なエネルギーや栄養をとるということだけではなく、人と一緒に、楽しく食べると、人と人の距離が近くなり、心も開かれてきます。おいしく、食べることで、心も体も健やかに育ちます。乳幼児期の心身の発達や意欲や、生活習慣の確立などの基本になります。みんなと一緒に昼ご飯やおやつを食べて「おいしいな、楽しいな、うれしいな」という気持ちをいっぱい味わって欲しいと思っています。

身近な素材を五感で感じられるように、生活と結びついた体験をするようにしています。

○給食

調理する前の野菜などを展示棚に展示したり、野菜を育て収穫し、下ごしらえの手伝い（豆のすじとり・トウモロコシの皮むき等）をしたりして、給食に取り入れ、食材に興味をもつようにします。又、クッキングも楽しみます。

年少・年中・年長組の子どもたちは、配膳台の前で保育士・栄養士に一人一人自分で食べる量を伝え、対話しながら、個別の配慮のもと、よそってもらいます。

○献立

旬の食材を使って、園独自の家庭的な和風献立を主にしています。そして、必ずみそ汁やスープなど、具沢山の汁物も加えています。

年少・年中・年長組の主食も保育園で炊飯して、温かいご飯を提供しています。

毎日の給食、離乳食、おやつを展示しています。保護者の皆さんには食材の取り合わせや量などを知っていただくと共に、お子さんとその日の給食について会話を楽しんでいただいています。

献立表は毎月初めに配布します。

○乳児食

母乳育児を応援します。冷凍母乳をお持ちになりたい方は、お預かりしますのでお申し出下さい。授乳においでになる方は、保育士にお知らせ下さい。

乳児のミルクは、園で準備します。メーカーは園指定のものを使用しておりますが、その他のミルクをご希望の方は、ご相談下さい。

離乳食はご家庭と連携をとり、月齢に応じ、初期食・中期食・後期食と個別に用意します。離乳食献立表を毎月初めに配布します。

○おやつ

土曜日以外は、塩分や糖分の取りすぎにならないよう手作りにしています。



○除去食

アレルギー体質で特定の食品を除く必要がある場合は、個別にご相談に応じています。専門医の「生活管理指導表」を提出していただき除去食(代用食)を作ります。

○特別食

保育中、急にお腹の具合が悪くなった時は、消化の良い食材を使ったり、やわらかく調理した、特別食を作ります。

○食器

食器は陶磁器で、乳児の食器はスプーンなどで食べやすいようにふちにかえしがあるものを使っています。

スプーンや箸は、子どもの発達に即した大きさや長さ等に配慮しています。



*0・1・2歳児クラス

{ 昼食(主食、副食、デザート)
おやつ(午前、午後各1回)
牛乳・ヨーグルトなど

飲み物は、100cc ずつ2回に分けて飲みます

《ただし1歳児未満児は、月齢に応じて授乳、離乳食、おやつなどを用意します》

*年少・年中・年長組

{ 昼食(主食、副食、デザート)
おやつ(午後1回)
牛乳・ヨーグルト・スキムミルクなど

◎年に2回、子どもたちの月々の身長・体重を基に、栄養士が給与栄養量目標を設定しています。

◎子どもたちの喫食状況の把握や、より良い食育の為、月1回、食育会議を実施しています。

登 降 園

登降園時には、保護者の皆様も園職員も、子ども達のお手本になるように、下記のようなことを心がけ、子どもにマナーや生活習慣が身につくようにしましょう。

- ・ お互いに、あいさつを交わしましょう。
- ・ 扉は、丁寧に開閉し、必ず閉めましょう。
施錠が必要なところは必ず施錠しましょう。
開錠ボタンは大人が押しましょう。
- ・ 雨の日に使った傘は、止め紐を止めてきちんとたたみ、傘立てに立てましょう。
- ・ お子さんが、自分でしようとする姿を見守りながら、できないところだけを手伝うようにしましょう。
- ・ 降園時、園庭や隣接した公園で遊んで帰らないようにお願いします。

○子どもの安全を守るために

- ・ 登降園時の子どもの安全は、必ず保護者の皆さんが責任を持ってください。

当園では、登降園システムを導入しています。

『ルクミー』(ユニファ株式会社)

- ・ 出席・欠席
 - ・ 降園予定時刻
 - ・ お迎えに来られる方
- 毎日必ず、保護者の『ルクミーfor FAMILY』アプリの連絡帳機能で送信

- ・ 登園時
 - ・ 降園時
- 玄関にて、登降園時刻を記録
- 保護者の『ルクミーfor FAMILY』アプリから…
保育園の専用タブレットから…



ルクミー



ルクミーは、保育園と保護者の方とのより良いコミュニケーションツールとしてご利用頂くためのスマートフォン/タブレットベースのサービスです。

＜ルクミーfor FAMILY アプリの設定方法＞

下の QR コードを読み取って頂き、マニュアルに従って設定してください。

※別紙のクラスコードをご用意ください。



ルクミーfor FAMILY
登録・利用マニュアル

※冊子の配布はしていませんが、必要な方は事務所までお申し出ください。

保護者向けアプリ
『ルクミーfor FAMILY』ダウンロード

iOSの方はこちら



Androidの方はこちら



○自動車での登降園

- ・ 駐車場利用申込書兼誓約書を提出、登録した車にのみ、標示カードを発行します。その後、駐車場の利用ができます。
- ・ ご近所の迷惑にならないよう御協力ください。エンジンは必ず停止ください。



・ 駐車時、駐車場待ちの間では、エンジンを必ず停止してください。

- ご夫婦で送迎に来られた時、車で待っているから・・・。
- 車に乗り、暑いので先にエンジンをかけ、携帯電話をチェック・・・その間、エンジンかけっぱなし。
- 一人の方にとっては数分の出来事でも、近隣にお住まいの方にとっては、日々継続しての出来事です。
- ・ 長時間の駐車は、しないでください。
- ・ 近隣の車庫の前、道路の角、公園の入り口には、絶対に駐車しないでください。
- ・ 駐車する時は、フロントに標示カードを掲示してください。
- ・ 標示カードは、必ずフロントガラスからはっきり見えるように提示してください。

- ・ 駐車場では、互いに譲り合い、園内・公園で遊んだりせず、速やかに出庫してください。
- ・ 利用理由は「送迎時のみ」を原則としています。
標示カード裏面の【駐車場利用にあたっての注意事項】をよく読んで下さい

広島和光園保育所



安全管理

○防災訓練

毎月、実際の火災や、地震などの災害を想定して、避難訓練を行なっています。

○防犯訓練

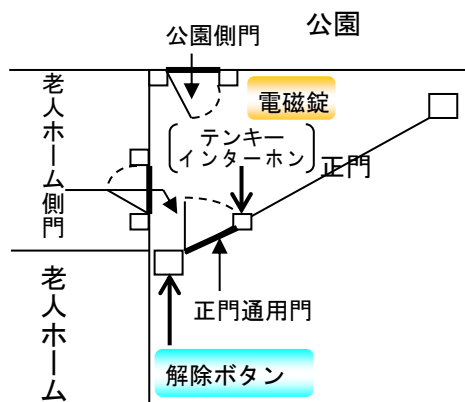
年2回不審者の侵入などを想定して、防犯訓練を行なっています。

○門扉の施錠について

園児の安全のため、正門通用門の門扉と玄関に電磁錠を設置し、カメラにて監視しています。登降園時には、テンキー暗証番号で開門(時間帯によっては、インターホンにて園内より開門)してください。

門の開閉は、必ず大人が行なってください。又、公園側門・老人ホーム側門も大人の方が閉め、かけ錠をきちんとかけてください。

なお、扉は次の人のために開けておくことはしないでください。お子さんが、先に走って出たりして危険です。



① **園内に入る時** 電磁錠のテンキー（暗証番号）を押して開門

② **園から出る時** 解除ボタンを押して開門

※ 玄関ドアは、12:00～15:00 は施錠しますので、テンキーの暗証番号で開扉してください。

◎ 暗証番号は、門扉も玄関も同じです。
クラス担任よりお聞きください。

災害対応について

○災害に対する備えについて

非常災害に関する具体的な計画を立て、防火管理者を定めています。
また、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを職員に周知するとともに、火災訓練その他必要な訓練を定期的実施しています。

(1)防火管理者 正田 恵一(広島和光園デイサービス・居宅介護支援事業所所長)

(2)防災訓練・・・様々な災害状況を想定し、毎月、全園児と全職員で避難訓練を実施しています。

園児と職員による訓練

火災時対応訓練 (毎月) 地震時対応訓練(年3回)
暴風雨水害時対応訓練(年1回) 不審者対応訓練(年2回) ほか

職員による訓練・研修

通報訓練 救命救急法・AEDの研修(年一回 全職員)
初期消火訓練 乳児睡眠時事故対応訓練

(3)防災設備

消火器、誘導灯、火災報知器、非常通報装置 避難はしご『オリロー』 ほか

(4)防災用品

AED、防災セット、飲料水(2ℓ×42本)、保存食、ミルク、アルミシート、ランタン、簡易トイレなど
非常時に必要と思われるものを保存しています。

(5)その他

非常ベルが鳴動すると自動的にセキュリティー会社を通じて消防署および警察署に
連絡が入る仕組みになっています。

○災害時における対応について

(1)火災発生時

出火場所に応じて 宇品東第一公園(ちびっこ広場) あるいは 園の駐車場 に避難



その後、状況に応じて 特別養護老人ホーム広島和光園 あるいは 宇品中学校 に避難

(2)地震発生時

各保育室で安全を確保し、余震が収まるまで待機する

火災発生



靴を履いて宇品東第一公園
あるいは
園の駐車場へ避難

大きな津波の可能性がある場合



保育園の園舎が無事な場合は保育園2階に避難
園舎に何らかの危険性がある場合は
特別養護老人ホーム広島和光園の2階以上階に避難
あるいは、宇品中学校 ※広島市洪水ハザードマップ参照

(3) 高潮浸水時など ※広島市洪水ハザードマップ参照

高潮浸水時、当園への浸水は2m以下と予想されるため、保育園2階にて待機

(4) 超巨大台風(伊勢湾台風クラス)直撃時

台風の規模や経路等により被害が甚大であることが予測される場合は、休園となる場合があります。

(5) 地震時の液状化現象について

大きな地震の場合、地盤が液状化する可能性があります。当園自体が火災にならない限り、建物内で待機しておくことが安全と思われます。

※ ひよこ組は別棟にありますので、災害発生状況や災害発生場所に応じて上記の避難方法や避難場所と異なる場合があります。

○災害時の保護者の方への連絡について

緊急時の情報は原則、『ルクミー』(ユニファ株式会社)のおたより機能を使用し、「重要連絡」として、お知らせします。

○災害共済給付金制度への加入について

在園中の不慮の事故や災害のため、任意で次の制度への加入をお願いいたします。

保険の種類	独)日本スポーツ振興センター
保険の内容	災害共済給付
保護者負担額	250円(年額)

虐待防止について

大人の思い通りに子どもが行動しない等の際、「しつけ」のためと、子どもに痛みや強い叱責を与えてしまうと、体罰(虐待)とみなされてしまいます。

お子さまへの関りについて、困ったことがあれば、いつでも職員へご相談ください。

【虐待防止のための措置】

- ・児童や保護者への教育・啓発の実施
- ・児童虐待の早期発見に努める(子どもの状況を観察や把握、保護者の態度、家庭環境の把握など)
- ・職員による虐待の防止(研修の実施、保育の現場や記録などから言動や記載などを把握)
- ・関係機関等への紹介、通告を行う体制作り
- ・自園でのマニュアル作り
- ・通告記録簿の整備
- ・関係機関との連携

家庭との連携

保護者と保育園は、子育てを支える車の両輪です。互いによりよきパートナーになるよう努め、密に連絡を取り合い、理解しあって、共に子育てすることを大切にしましょう。

○クラスでの様子

0歳児クラス

毎日、お子さんの生活リズムや状況を、「ルクミー連絡帳」を使用して、家庭と園とで共有します。

1・2歳児クラス

写真とコメントで保育の様子を掲示にてお知らせする日と、「ルクミー連絡帳」にてお子さんのその日の様子をお知らせする日があります。

年少・年中・年長児クラス

年少組からは子どもが自分で伝えることができるようになりますので、連絡帳は使いませんが、幼児クラスの掲示板にて保育の様子をお知らせします。

○園生活の様子やお知らせ

保育園からのお知らせなどは、玄関の掲示板・各部屋の入り口の掲示板でお知らせすることもありますので、登降園時にご覧ください。

年長児などは、子どもに口頭で伝えることもあります。

○保護者との懇談

共に子育てしあう関係にある保護者の方々と保育園が、お子さんについてより密に理解し合えるよう、クラス毎などの懇談の機会を設けています。互いに情報交換をし、よりよい子育てにつなげたいと思います。個人懇談は、随時各クラス担任へ申し込みください。

○保育参加

保育士がどのようにお子さんと関わりながら保育をしているか、またお子さんがクラスのお友達とどのように関わりながら園生活を楽しくしているのかを知っていただくため、保育参加を実施しています。保育園で子ども達や保育士と一緒に過ごしていただきます。

年間1回を予定しています。

○生活リズム

「早寝・早起き・朝ごはん」を、子ども達の健やかな成長のために、守ってください。

○靴

足にぴったり合った大きさで、運動のしやすい靴底のうすい(靴のつま先とかかともって半分に折り曲げてみて、容易に曲がるものなど)のもので、かかとの部分のしっかりした靴が良いです。

園内では、上靴を使用しないで素足で過ごすようにしています。ただし、年少・年中・年長組のお子さんの場合、体調不良などで靴下をはきたいときは、上靴をお持ちください。

○服装

保育では、どうしても服が汚れることがあります。汚れてもよい服を着用しましょう。薄着で活動しやすい服装を心掛けて下さい。

又、吸汗や風邪予防のために、夏季以外は下着を着用する習慣を身につけましょう。

〔活動しやすいもの〕

- ・伸縮性のある綿のTシャツや半ズボンがよいでしょう。年少・年中・年長組の体育服の半ズボンにはポケットもあり、保育園の日常活動着としても適していると思いますのでお勧めします。
- ・大きな飾りのボタンやひもが付いている服や、フード付きの上着は危険です。
- ・冬の防寒着も、フードのないもので体を動かして遊ぶのに支障がないものを選びましょう。
- ・股上丈が深くずり落ちたりしないズボンや、お腹や背中が見えない丈の上着を着用し、すその長いズボンや袖の長い服は動きにくく危険ですので着用しないようにして下さい。

〔帽子について〕

年少・年中・年長組のお子さんは、登降園時、保育活動の際など活動帽を着用して下さい。帽子の状態を常にご確認いただき、気持ちよく着用できるようにして下さい。

〔着脱を習慣づけるために〕

- ・ズボン、パンツはゴム入りの簡単なものをお勧めします。つりズボンやオーバーオールは、一人では脱ぎ着しにくいので避けてください。
- ・前襟ぐり、袖ぐり、袖下にゆとりのあるものがよいでしょう。
- ・前開きの衣類はボタンが大きめのものが着やすいです。

○記名

衣服・下着・靴下・靴・傘・紙おむつなど、持ち物には、すべて名前をはっきり書いてください。集団生活の中で、名前のないものはすぐに迷子になってしまいます。

名前のない不明品は、登降園簿近くの忘れ物入れに置いておきますので、ご確認ください。10日以上お引き取り、お問い合わせのない場合は処分させていただきますのでご了承ください。

○昼寝用寝具(年長組は昼寝はしません。但し、お子さんの状態や希望により昼寝をします。)

上下布団は当保育所で用意します。

敷用にバスタオルと掛用には綿毛布(夏はバスタオル)をご用意ください。

なお、バスタオルと綿毛布は毎週末に持ち帰り、洗ってきてください。

○その他

園児には、お金、玩具、お菓子、髪飾り(飾りつきゴム・ヘアピン)、キーホルダー等を持たせないでください。

健康管理

○健康観察

登園時、保育士はお子さんの手をとって挨拶をしながら、表情や手の暖かさなどをみて健康観察を行い、0歳児は検温もします。

前日お子さんの様子に変化があった場合(発熱、嘔吐、下痢、元気がなく顔色が悪いなど、又、受診された時は、病名と症状)は必ずお伝えください。

なお、病気のお子さんは、できるだけ家庭で安静にして治ってからお連れください。

○健康診断

お子さんの病気や健康のことで、園医に尋ねたいことがありましたら、前もってお知らせください。

- ・ **身体計測** 毎月、体重と身長を計測します。
- ・ **小児科健診** 全園児、年2回小児科園医により行います。
※0歳児は、毎月1回小児科園医により行い(年2回の小児科健診を含む)ます。
- ・ **歯科検診** 年2回小児歯科園医により行います。
※ 幼児組(年長組)は、歯みがき指導も実施しています。
* 身体計測・小児科健診・歯科検診の結果は、ルクミーアプリでお知らせします。

【各健診結果の確認方法】
ルクミーマニュアル
P.21 をご覧ください。



職員(全員)・年1回、定期健康診断を実施 ・インフルエンザ予防接種を実施

○予防接種

園では実施しませんので、かかりつけの医療機関にご相談ください。

お子さんを病気から守るため、又、他の子どもたちへの感染を防ぐためにも、できるだけ早目に予防接種を受けることをお願いします。



○与薬

風邪などでやむをえず薬を持参される場合、当園では、慢性期や回復期に限り、薬をお預かりし、保護者の方に代わって保育士が与薬をしています。その際、与薬依頼票を使用し、重服与薬などの事故のないよう気を付けていますが、与薬はできれば保護者の方にお願いたいので、受診の際に、お医者さんに保育園に通っていることを伝えていただき、服薬を朝・夕の2回にしてもらおうなど、できるだけ保育園での与薬は控えて頂くようお願いします。

- ・ 登降園簿台に置いてある「与薬依頼票」に記入して、薬と一緒に必ず手渡ししてください。
- ・ 薬は、病院で処方されたものに限ります。保護者の判断で持参した薬は対応できません。
- ・ **持参する薬**
当日1回分のみご用意ください。
水薬は小さな容器に移してください。
袋や容器に「クラス・名前」を記載してください。
- ・ 市販の薬、解熱剤、鎮痛剤はお預かりできません。
- ・ 慢性の病気などの投薬や、処置、外用薬などについては、その都度ご相談ください。
- ・ 病院では、保育園に通っていることを医師に伝えて、登園の可否を尋ね、指示に従ってください。



○衛生管理

- ・各所に手洗い石鹸、消毒用アルコールを設置しています。
- ・各クラスに加湿式空気清浄機を設置しています。
- ・嘔吐時に即時対応できるよう、嘔吐処理キットを各所に設置しています。

○感染症

他のお子さんに伝染する恐れのある感染症の場合、医師の許可がでるまで休園していただきます。

許可ができましたら「学校伝染病等治癒連絡票」を書いてもらって、園に提出してください。用紙は園にもあります。

感染症の登園基準の抜粋

疾患名	登園停止期間の基準	治癒連絡票
インフルエンザ（様疾患）	発症後5日を経過（発症日を0日とする）、かつ解熱後3日間を経過し、元気が良いとき	—（※）
新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過（発症日を0日とする）、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで	—（※）
百日咳	特有の咳が消失するまで	必要
はしか（麻疹）	発疹に伴う熱が下がった後、3日間を経過し元気が良いとき	必要
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	耳下腺の腫脹が消失するまで	必要
三日はしか（風疹）	発疹が消失するまで	必要
水ぼうそう（水痘） 帯状疱疹	すべての発疹がかさぶたになるまで 水ぼうそうに罹っていない子にうつり、水ぼうそうになる可能性があるため すべての発疹がかさぶたになるまで	必要 必要
プール熱（咽頭結膜熱） <アデノウイルス>	解熱し、主要症状が消退した後2日を経過するまで	必要
流行性角結膜炎 <アデノウイルス>	医師が許可するまで	必要
伝染性紅斑（りんご病）	全身状態が良ければ登園可	—
ヘルパンギーナ	解熱し、食事も充分できて、元気になったとき	—
手足口病	熱がなく、食事も充分にできるとき	—
溶連菌感染症	有効治療を始めてから24時間以上経過してから	—
乳児嘔吐下痢症 （感染性胃腸炎）	主な症状が殆ど消失し、主治医又は、医師が登園して差しつかえないと認めるとき	—
とびひ （感染性濃痂疹・皮膚化膿症）	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が覆える程度のものであること （その部位を覆っていること）	—

（※）インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症について、治癒連絡票の提出は必要ありませんが、保護者の方に『罹患報告書』を記入していただき、園に提出していただきます。

○連絡

保育園では、十分留意して保育をしていますが、不慮の出来事などで負傷することや、急に発熱する事もあります。医師の診断や応急処置を必要とする場合や、早期処置と安静が必要な場合は、連絡をさせていただきますので、必ず連絡がつくようにしておいてください。

住所・電話番号や勤務先の変更時には、速やかにお知らせください。
園の事務所にある所定の変更届用紙に記入していただきます。

○主に利用している病院のリスト

病気やけがの際、緊急にお子さんを病院へお連れする場合は、次の病院を利用します。連れて行ってほしくない病院がある方は、ご連絡ください。

園医	森小児科	251-1717	南区翠2-27-27
〃	まつお歯科	253-4618	南区翠2-9-22
	はたの皮膚科	250-3337	南区宇品西3-1-45-2
	しげのぶ整形外科	568-1010	南区段原南1-3-53 広島イーストビル2F
	宮本形成外科	264-8800	南区段原南2-3-22
	田中眼科	255-6622	南区翠1-3-15
	和田耳鼻咽喉科	256-1133	南区宇品神田5-5-9

「苦情申出窓口」の設置

保育園のことでお気づきのこと、不愉快なこと、改善してほしいことなどがございましたら、ご遠慮なくお伝えいただきたいと思えます。わたくしどもは、可能な限り子どもにとって最善であるように、また、保護者の皆様のご要望にも精一杯お応えしたく努力をはらっていくつもりです。なお、当園ではこのようなご意見をいただく時、従来どおり職員誰でもご意見をいただきますが、苦情受付担当者と責任者をそれぞれ設けております。いつでもお問い合わせください。

相談・苦情解決受付担当者	職名	園長	吉田 邦子
	職名	主任	大下 律子
相談・苦情解決責任者	職名	理事長	竹内 由紀絵
第三者委員	氏名	電話番号	
	政廣 久子	082-254-0577	
	藤原 雅子	082-271-4790	

受付方法：例)面接、電話、文書などの方法により、相談・苦情を受け付けています。

個人情報について

認定こども園広島和光園保育所は、守秘義務を厳守し、個人情報に関連する法令を遵守します。

保護者会

認定こども園広島和光園保育所には、保護者の方々による「認定こども園広島和光園保育所保護者会」があります。保護者会の目的は下記のとおりです。
(保護者会会則による)

- (1) 保育園施設の充実並びに、保育事業の助長を図り、園児の福祉を増進させる。
- (2) 保育園と家庭との連絡の強化と、会員相互の親睦と教養の充実。

バザー、運動会等でのお手伝いを通して、保護者同士の親睦をはかっています。会費やバザー収益金は、園舎設備充実の為の補助や、運動会やクリスマス会等の子どもたちへのプレゼントおよび園文庫の絵本の購入等に使います。

課外教室

スポーツクラブとピアノ教室があります。(保育園児～高校生)

◎ お問い合わせ先は、事務所にお尋ねください。

利用料その他費用等

保育料（月額）	保護者が居住する市町村が定める保育料 （3歳以上児は、無償）	
登録型延長保育料（月額）	2,750円を上限とする	
一時的延長保育料（1回につき）	3歳児未満 600円	3歳児以上 500円
短時間保育者時間超過料 （16：15～18：15）	1回利用につき 250円	
実費徴収	保護者会費	全園児 400円（月額）
		駐車場使用料（駐車場利用者のみ） 330円（月額）
	体育指導費	3歳以上児 500円（月額）
	主食費 副食費	3歳以上児 700円（月額）
		3歳以上児 4,500円（月額）
	保育用品	体操服 半袖（幼児） 2,860円
		体操服 長袖（幼児） 3,630円
		体操ズボン（幼児） 2,310円
		活動帽（幼児） 1,040円
		ネームラベル（幼児） 20円
自由画帳（幼児） 165円		
マーカー（箱） 820円		
マーカー（バラ） 111円		
おしらせばさみ 520円		
<p>実費徴収の支払い方法：用品はルクミー園モールにて販売 保育料・用品の一部・副食費・主食費・保護者会費はルクミー請求管理システムにて 保護者の方が指定した口座より引き落とし</p>		

※令和6年4月からの価格です。

※年度により、保育用品を変更する場合があります。

保育用品の購入について

園で使用する保育用品は、ルクミー園モールから購入していただきます。

園モールは、園で使う用品の代金や集金をスマートフォンで簡単に注文・支払いできるサービスです。

ルクミー園モールで
ご購入いただける物

- ◎体操服 半袖（幼児）
- ◎体操服 長袖（幼児）
- ◎ネームラベル（幼児）
- ◎体操ズボン（幼児）
- ◎活動帽（幼児）
- ◎マーカー（箱）
- ◎おしらせばさみ

請求管理システムより口座
引き落としお支払いいただく物

- ◎自由画帳
- ◎マーカー（バラ売り）

保育中に、自由画帳を全て使い切ったり、マーカーのインクがなくなった時には、すぐに子どもたちが使えるよう渡してあげたいので、支払いは、先払いシステムの園モールではなく、口座引き落としとさせていただきます。その際は送迎時に保育士から保護者の方にお声がけさせていただきます。

園モールは、「ルクミーfor FAMILY」のメニュー画面からアクセスできます



ご利用方法は
こちらをご覧ください

記名について

保育所で使用する布団やかばんなど、下記の通り、所定の場所へ記名してください。
その他、園で使用するすべての物に必ず記名してください。
* 兄弟が使用していたものを使う場合は、本人の名前が書いてあるかをご確認ください。

○午睡用布団

布団の右下に、大きめに記名してください。
敷布団・掛け布団 2枚とも、同じ位置に
記名をお願いします。(油性マジックで構いません。)



出来るだけ、柄や
色が派手でないもの
を用意してください。

○通園かばん



持ち手内側の辺りに記名してください。
※通園かばんの中には、汚れた衣類を入れる
ビニール袋を入れておいてください。
(ビニール袋にも記名をお願いします。)

○紙おむつ



紙おむつの前側(お腹側)に記名してください。
※ビニールで廃棄する際、名前が見えないように
するため。

○くつ



どちらかに
記名してください。

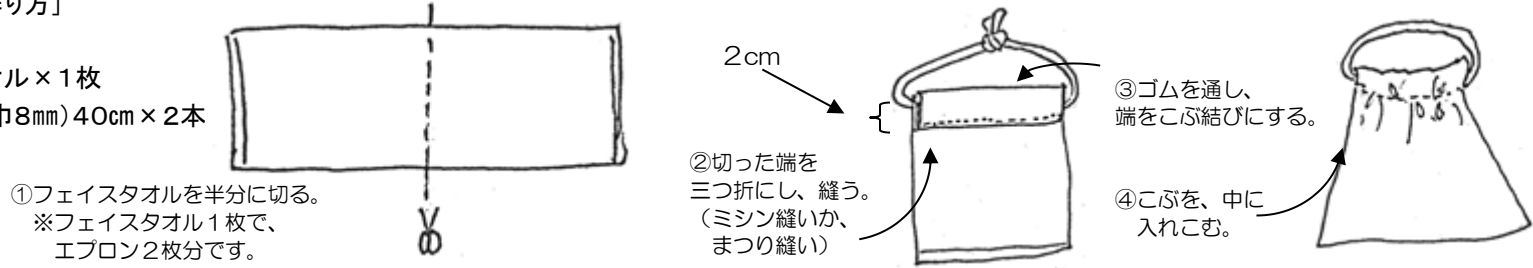
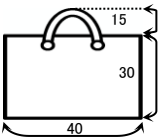
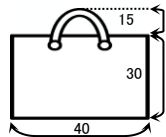
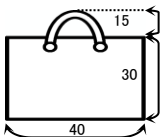

かかと部分、または、タンの内側に
わかりやすく記名してください。
※履いているうちに字が薄れてくること
がありますので、その都度書き直してください。

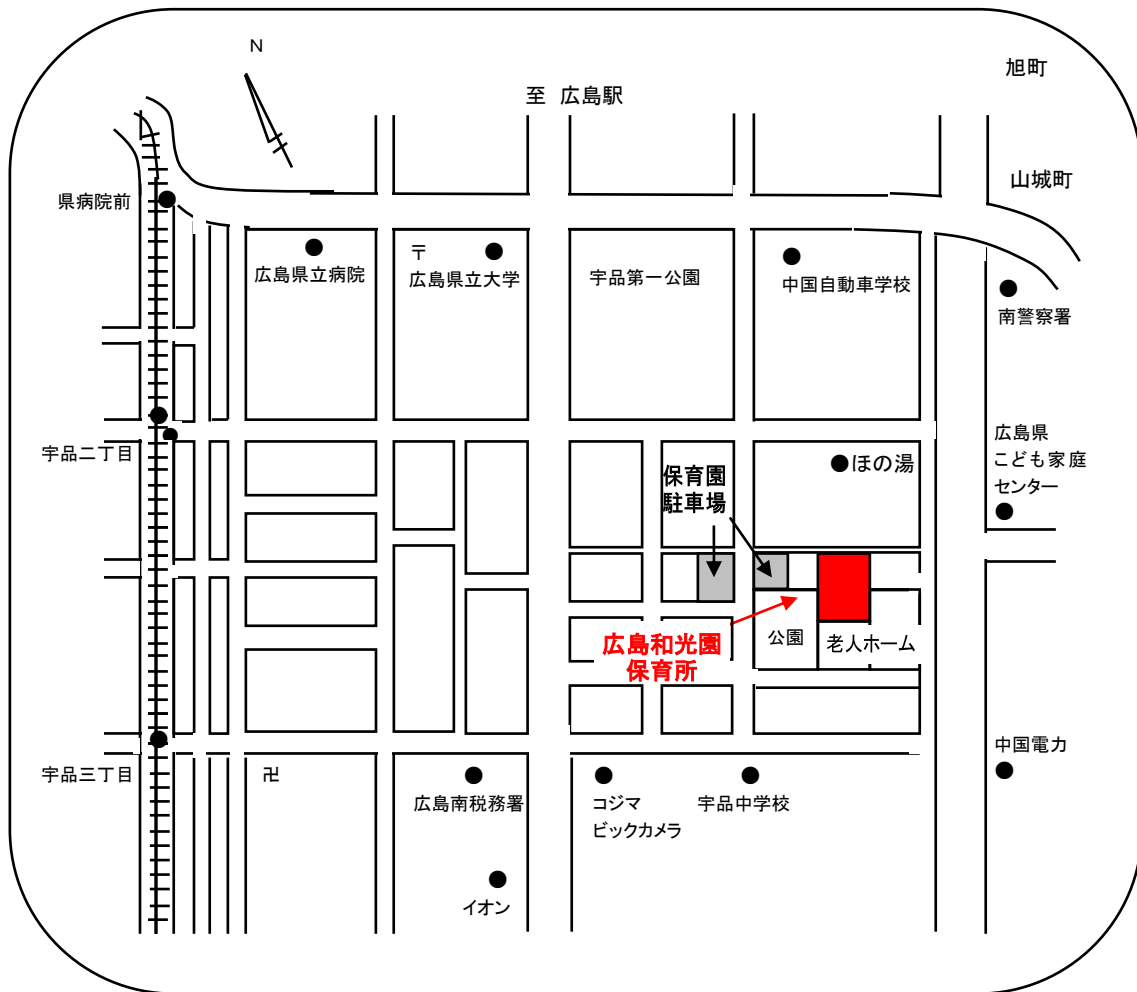
○衣類



見えやすい場所に記名してください。
※タグの辺りに記入されている方が多いです。
※肌着にも必ず記名をしてください。

保育所で必要な物

		0歳児	1歳児	2歳児	年少・年中・年長児
入園時提出して頂くもの	名前はいりません	*フェイスタオル 1枚 *ハンドタオル 2枚 *エプロン 2枚(エプロンの作り方参照) *雑巾 1枚(雑巾の作り方参照)	*フェイスタオル 1枚 *ハンドタオル 2枚 *エプロン 2枚(エプロンの作り方参照) *雑巾 1枚(雑巾の作り方参照)	*フェイスタオル 1枚 *ハンドタオル 2枚 *エプロン 2枚(エプロンの作り方参照) *雑巾 1枚(雑巾の作り方参照)	*雑巾 1枚(雑巾の作り方参照)
		[エプロンの作り方] 材料(2枚分) ●フェイスタオル×1枚 ●白平ゴム(巾8mm)40cm×2本 ①フェイスタオルを半分に切る。 ※フェイスタオル1枚で、 エプロン2枚分です。 	[雑巾の作り方] 材料(1枚分) ●フェイスタオル フェイスタオルを半分に切って、 下記のようにたたみ、ミシンで縫ってください 真ん中で両端を合わせる → 中央で折る → 縫う こどもたちが使用しますので、生地は薄めの物がいいと思います。		
園の個人整理棚・布団用棚に入れておくもの	おむつの物入れは名前を書かないでください	*午睡用 敷用バスタオル 1枚 掛用ベビー綿毛布 1枚 (夏は、バスタオル) ※柄や色が派手でないものを用意してください。	*午睡用 敷用バスタオル 1枚 掛用ベビー綿毛布 1枚 (夏は、バスタオル) ※柄や色が派手でないものを用意してください。	*午睡用 敷用バスタオル 1枚 掛用ベビー綿毛布 1枚 (夏は、バスタオル) ※柄や色が派手でないものを用意してください。	*午睡用 敷用バスタオル 1枚 掛用ベビー綿毛布 1枚 (夏は、バスタオル) ※柄や色が派手でないものを用意してください。 年少児と、 年中児の希望者のみ
		季節やお子さんの発達に合わせて調整してください			
毎口持っているもの		*おむつ<紙おむつ> 8組 ※使用済みおむつは園で廃棄します。 *おむつカバー(布おむつの場合) 3枚 *おしりふき *着替え上下 3組 *肌着 3枚 *よだれかけ 3枚	*おむつ<紙おむつ> 8組 ※使用済みおむつは園で廃棄します。 *おむつカバー(布おむつの場合) 3枚 *おしりふき *着替え上下 3組 *肌着 3枚	*上着、ズボン 2組 *肌着 2枚 *おむつ 4枚 ※使用済みおむつは園で廃棄します。 *おしりふき *トレーニング中の方 布パンツ 4~5枚	
		*通園かばん 大きさ30cm×40cmくらい ビニール袋を1枚入れて下さい (着替えた衣服等を入れます) 	*通園かばん 大きさ30cm×40cmくらい ビニール袋を1枚入れて下さい (着替えた衣服等を入れます) 	*通園かばん 大きさ30cm×40cmくらい ビニール袋を1枚入れて下さい (着替えた衣服等を入れます) ※子供たちが着替を入れやすいように 園のハンガーには、上着の上から かばんをかけてください 	*通園かばん(自由です) ※年少児のみ ビニール袋を1枚入れて下さい (着替えた衣服等を入れます) 
週一回		*補充用衣類(前日持ち帰った衣類分) *帽子 ※顎ひもは、ゴムのものをご用意ください。	*補充用衣類(前日持ち帰った衣類分) *帽子(自由) ただし、野球帽のようなつばの広いものは 視界が狭くなり危険です。 ※顎ひもは、ゴムのものをご用意ください。 *夏のみ(7月~9月頃) 水遊び用フェイスタオル 1枚 (ビニール袋に入れて記名してください)	*補充用衣類(前日持ち帰った衣類分) *帽子(自由) 幼児組で使用している活動帽を 着用されてもかまいません。 ※顎ひもは、ゴムのものをご用意ください。 *夏のみ(7月~9月頃) 水遊び用フェイスタオル 1枚 (ビニール袋に入れて記名してください)	*プラスチック製コップ 1個(記名ください) (巾着袋に入れて下さい) *活動帽(毎日の外あそびや体育教室で着用) *水筒(お茶または水を入れて下さい) *夏のみ(7月~9月頃) 上着、半ズボン、水着 } 1組 着替え用 バスタオル、パンツ } 袋に入れて
			*絵本貸し出し用袋 (通園かばんと同じような大きさのもの)	*絵本貸し出し用袋 (通園かばんと同じような大きさのもの)	*絵本貸し出し用袋 大きさ30cm×40cmくらい *体操シャツ(園指定の ネームラベルをつけて下さい) } これらを着用し、着替えを 体操ズボン } 体操用袋に入れて来て下さい



ひろしまわこうえんほいくしょ

T E L:(082)253-4056

F A X:(082)253-4075

eメール:wakoen-hoiku@io.ocn.ne.jp

ホームページ:<https://wakoen.or.jp/pages/37/>

